

# 用語解説

## 一覧表

用語	頁
<b>A～Z</b>	
ASEAN	用- 1
ESPONプログラム	用- 3
FTA	用- 1
LRT	用- 6
NITAS	用- 4
NO <sub>x</sub>	用- 2
ODA	用- 2
PM	用- 3
SCM	用- 2
SPM	用- 3
TDM	用- 4
TSL	用- 5
<b>あ～わ</b>	
アクセシビリティ	用- 5
インターモーダル	用- 5
過疎地域活性化特別措置法	用- 1
カントリーリスク	用- 2
気象変動枠組条約	用- 2
逆都市化	用- 4
グリーンツーリズム	用- 2
クロスドック機能	用- 5
ゲートウェイ	用- 1
コーホート法	用- 4
コーホート変化率法	用- 3
コミュニティバス	用- 6
純流動調査	用- 3
食農教育	用- 4
自律移動支援プロジェクト	用- 6
静脈物流	用- 3
背高海上コンテナ	用- 5
ゼロエミッション	用- 2
中山間地域	用- 1
デジタルデバイド	用- 4
デリバリーサービス	用- 6
トリップ	用- 5
二地域居住人口	用- 2
日常生活	用- 1
農業集落	用- 1
フリーゲージトレイン	用- 5
マネーフローのダイナミズム	用- 3
マルチハビテーション	用- 2
マルチモーダル施策	用- 5
水共同域	用- 1
ミッシングリンク	用- 5
モビリティ	用- 1
ユニバーサルデザイン	用- 2
ユビキタス	用- 2
リージョナルジェット	用- 5
リーディング産業	用- 4
リードタイム	用- 4
リサイクルポート	用- 5
リダンダンシー	用- 3
旅客純流動調査	用- 3
ワーキングホリデー	用- 6

## ASEAN

東南アジア諸国連合 (Association of Southeast Asian Nations) の略。

1967年8月に、インドネシアのイニシアチブにより結成された東南アジアの地域協力機構。加盟国は、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア（02年12月現在）の10か国。結成当初は、反共産主義などの政治的な連携・協力を中心としていたが、現在はASEAN地域全体の経済発展への取組みが中心になっている。

## FTA

Free Trade Agreement の略。

二国間または複数国間の加盟国で締結する貿易上の取り決めで、加盟国域内の関税や輸出入制限などの関税によらない貿易障壁を撤廃することで、貿易の拡大を通じた域内経済の活性化を目指すもの。

## モビリティ (mobility)

自由な行動の可能性（自由な行動のし易さ）。

## 日常生活

通勤、通学、日常的な買物、通院、福祉サービス、域内の業務活動、文化的サービスなど。

## 水共同域

水資源を一体的に活用している地域。

## 中山間地域

山間地とその周辺の地域を指す。一般に傾斜地が多いなど農業生産条件は不利であるが、国土の保全、水資源のかん養などの多くの機能を有している。

## 過疎地域活性化特別措置法

人口の著しい減少に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備などが他の地域に比較して低位にある地域について、総合的かつ計画的な対策を実施するために必要な特別措置を講ずることにより、これらの地域の活性化を図り、もって住民福祉の向上、雇用の増大及び地域格差の是正に寄与することを目的とした法律。現在、過疎対策のための特別措置法として「過疎地域自立促進特別措置法」が施行されている。

## 農業集落

市町村の一部において、農業上形成されている地域社会のこと。農業集落は、もともと自然発生的に存続する地域社会で、家と家が地縁的、血縁的に結びつき、各種の集団や社会関係を形成してきた社会生活の基礎的な単位。なお、農業集落調査では、市街化や過疎化により農業集落としての機能がなくなったものは調査対象から外している。

## ゲートウェイ (gateway)

交流に関して地域の拠点となる港湾、空港。

## SCM (サプライチェーンマネジメント)

Supply Chain Management の略。

商慣行の見直し、e コマースの推進や取引単位の標準化などによる企業間連携を通じて、生産から消費までの情報と物の流れを効率化し、消費者ニーズを反映した商品をスピーディーに適正な価格で提供するための仕組み。供給連鎖管理とも呼ばれる。

## ユビキタス

「欲しい様々な情報がいつでもどこでも手に入る」という意味。

ラテン語の「Ubiquitous (いたるところに存在する)」に由来。

## カントリーリスク

外国の政府または民間部門に対する債権が債務国の外貨不足等の経済的要因や政府の外国資産凍結等の政治的要因によって回収不能になる危険性のことを指す。第1次石油危機以降、開発途上国の対外債務が累積するようになって以来、注目を浴びるようになる。

## マルチハビテーション

都心部での住宅と職場の近接あるいは一体化による時間的なゆとり、郊外部あるいは地方部での住宅規模のゆとり、豊かな自然環境や密接な地域コミュニティなどの、両方の魅力を享受するために、多様な居住地の選択をしながら暮らすようなライフスタイル。

## ODA

Official Development Assistance (政府開発援助) の略。

日本政府から途上国の政府を通じて行う援助を指し、経済開発や福祉の向上を通じて、国民の生活向上に役立つことが目的。

## ユニバーサルデザイン (universal design)

「(年齢・身体的能力などを問わず)すべての人にとって利用しやすいものにする」こと。

## グリーンツーリズム (green tourism)

農村における滞在型余暇活動。

## 二地域居住人口

都市住民が、本人や家族のニーズ等に応じて、多様なライフスタイルを実現するための手段の一つとして、農山漁村等の同一地域において、年間で1ヶ月以上の中長期、あるいは定期的・反復的に滞在すること等により、当該地域社会と一定の関係を保ちつつ、都市の住居に加えた生活拠点を持つこと。

## 気候変動枠組条約

大気中の温室効果ガス濃度を安定化することを目的とし、締約国に温室効果ガスの排出・吸収目録の作成、地球温暖化対策のための国家計画の策定とその実施などの各種の義務を課しているもの。(1992年5月採択、1994年3月発効)

## NO<sub>x</sub>

Nitrogen Oxides (窒素酸化物)。

窒素酸化物はそれ自体有害で、高濃度で呼吸障害を引き起こすほか、炭化水素と結びついて、光化学スモッグの原因となる光化学オキシダントを生成する。

## PM

Particulate Matter（粒子状物質）。固体又は液体の粒子からなる物質全般を指す。

## SPM

Suspended Particulate Matters（浮遊粒子状物質）。

大気中に浮遊する粒子状物質であって、粒径が10ミクロン以下のもの。SPMは、空気中を長い間ただよって呼吸により人間の肺や気管に入り、その量が多いとぜん息や気管支炎、花粉症の原因になると言われている。

## ゼロエミッション（zero emission）

ある産業から出るすべての廃棄物を新たに他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物をゼロとすることで新しい資源循環型の産業社会の形成を目指すこと。

## 静脈物流

廃棄物などの適正なリサイクルや処分などを行うための物流。

## マネーフローのダイナミズム

地域が一定規模の経済力・人口を有し、対内的にも対外的にも活発な経済活動を実施すること。

## コーホート変化率法

各コーホートについて、自然増減要因と社会増減要因を区別せず、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。過去の人口変化要因が将来にわたっても大きく変化しないと予想される場合には、コーホート要因法より簡便に将来人口を予測することができる。

## リダンダンシー（redundancy）

「冗長性」、「余剰」を意味する英語であり、国土計画上では、自然災害などによる障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な性質を示す。

## 純流動調査

個人や貨物に着目し、出発点から到着点までの動きを一区切りの流動として把握する調査で、5年ごとに行われる。人に着目した「旅客純流動調査」とモノに着目した「貨物純流動調査」がある。

## 旅客純流動調査

全国の幹線交通機関（航空、新幹線等の鉄道、自動車、幹線旅客船、幹線バス）を利用して日常生活圏をこえる旅客流動を把握する調査。旅行する個人に着目し、出発地から目的地までの交通機関の乗り継ぎ状況を含めた旅行行動の全体像を把握することが可能。

## ESPON プログラム

European Spatial Planning Observation Network の略。

同プログラムは EU 各国が直面している地域政策上の共通課題について研究し、その結果を共有化することを目的にしている。このプログラムの一環として、各国、地域などが有しているデータの検索システム“DATA NAVIGATION”が構築されており、このシステムにより各種データの所在地、入手方法などを検索することができる。

## NITAS

National Integrated Transport Analysis System の略。

同システムは道路、鉄道、航空、船舶の各交通機関を組み合わせて総合的に交通体系の分析を行うシステムである。ある任意のゾーン間を最短時間・費用・距離等で結ぶ交通手段（自動車、鉄道、航空、船舶及びそれらの組み合わせ）を検索すると、その経路・所要時間・費用が分かる。

また、今後整備が予定されている、将来ネットワークをシステムに組み込むことにより、その効果を分析することができる。

さらに、各ゾーンに対し、国勢調査・工業統計・商業統計の統計データがシステム内に組み込まれているので、多角的に交通基盤の整備効果などを分析・評価することが可能となる。

なお、同様の分析を行うことのできるシステムとして NAVINET があるが、NITAS はこれを改良し、より詳細な分析を可能としたものである。

## TDM

Transportation Demand Management の略。

交通需要マネジメント。都市又は地域レベルの道路交通混雑の緩和を道路利用者の時間の変更、経路の変更、手段の変更、自動車の効率的利用、発生源の調整など、交通需要量を調整（=交通行動の調整）することによって行う手法の体系。

## リーディング産業

成長が著しく、また雇用や他産業の生産活動への幅広い波及効果を持ち、それによって地域経済を牽引する力を有する産業。

## 逆都市化

大都市の人口が次第に減少する一方、長期間減少し続けていた農村部の村や小さな町の人口が大きな伸びを示し始める現象。

## コーホート法

地域の将来人口を予測する際に、特定の社会的集団（=コーホート：通常は年齢階層別男女別人口）毎に人口予測を行う方法の総称。代表的なものとして、コーホート要因法と、コーホート変化率法がある。

## 食農教育

家庭における食事や学校給食、さらに社会教育等を通して、栄養バランスや食習慣、さらに食料の生産、流通、消費を通して、全般的な食の問題や農業に対する理解を深めるための教育。

## デジタルデバイド (digital divide)

パソコンやインターネット等の情報技術（IT）を利用する能力、及びアクセスする機会を持つ者と持たざる者との間に、情報格差が生じるとされる問題。

## リードタイム

一般には原材料あるいは製品（商品）の発注、仕入れ機関、または出荷から引き渡しまでの期間（調達期間）をいう。海上コンテナ輸入の場合、船舶が入港してから、貨物がコンテナヤードを出ることが可能となるまでに必要な時間。

### TSL(テクノスーパーライナー)

TSL は、高速で、大量の貨物を積み、荒れた海でも安全に航行できることを目標に、平成元年度～7年度にかけて開発された超高速船。TSL を用いて超高速海上輸送ネットワークを構築することにより、物流の活性化や利便性の向上といった効果が期待される。

### インターモーダル

複合一貫輸送。2種類以上の交通手段を組み合わせ、荷受地から荷渡地までの一貫輸送を提供するもの。

### リージョナルジェット

概ね 50～100 席クラスの小型のジェット機。大型、中型のジェット機よりも低騒音で必要な滑走路延長も短いという特徴をもつ。

### 背高海上コンテナ

国際標準化機構 (ISO) 規格海上コンテナのうち、高さが 9 フィート 6 インチのもので、低床式のシャーシに積載しても車両の高さが 4.1m となるもの。改正前の車両制限令では車高を 3.8m に制限していたため、背高海上コンテナ積載車両はあらかじめ指定された経路に限り許可を受けて走行していたが、平成 16 年 2 月の車両制限令の改正により、指定された道路では自由走行が可能となった。

### クロスドック機能

入庫した貨物を保管することなく、迅速に顧客あるいは受荷種別に仕分け、配送車両や船舶・航空機に積替えること。

### ミッシングリンク (missing link)

幹線道路などの交通ネットワークの欠落区間。

### フリーゲージトレイン (free gauge train)

異なる軌間の線路の走行が可能な電車。現在、この車両の開発を行っている段階であるが、実用化により新幹線から在来線への直接乗り入れが可能となり、移動時間の短縮により乗客の利便性の向上が期待される。

### トリップ (trip)

人がある目的を持ってある地点からある地点へ移動した単位。

### マルチモーダル施策

複数の交通機関の連携を通じて利用者のニーズに対応した効率的で良好な交通環境が提供されること。

### アクセシビリティ

ある目的地への到達性 (目的地への到達のし易さ)。

### リサイクルポート

循環型社会の実現を図るための静脈物流の拠点として、港湾管理者からの申請により国が指定した港湾。具体的には、大規模なリサイクル処理施設の集中立地、残さ処分のための廃棄物最終処分場、ストックヤード等の静脈物流基盤の整備等が一体的に展開され、循環資源の収集、輸送、処理の総合的な静脈物流拠点を形成する。

## LRT

Light Rail Transitの略。

従来の路面電車から走行環境、車両等を向上させたもので、道路空間、鉄道敷等の既存インフラも有効活用し、高い高速性、定時性、輸送力を持った、人に優しい都市公共交通システム。

## コミュニティバス

地域住民の利便向上などのため一定地域内を運行するバスで、車両仕様、運賃、ダイヤ、バス停位置などを工夫したバスサービス。

## 自律移動支援プロジェクト

社会参画や就労などにあたって必要となる「移動経路」、「交通手段」、「目的地」などの情報について、「いつでも、どこでも、だれでも」アクセスできるユビキタスな環境を構築することで、誰もが持てる力を発揮し、支え合ってつくる「ユニバーサル社会」の実現を目指したプロジェクト。

## デリバリーサービス

配送・配達サービス。配送・配達サービスは、物品購入に伴う配達・配送だけでなく、利用者のニーズにきめ細かく対応した情報提供や、文書処理の代行サービスといった分野まで幅広く展開している。

## ワーキングホリデー

賃金を支払って仕事をしてもらいながら休暇と交流を楽しんでもらうこと。